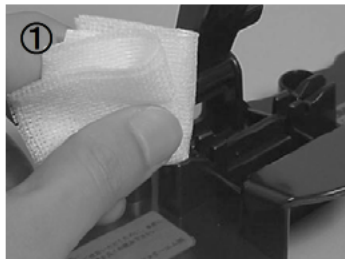


3M™ ファイバロック™ ライト スプライス(2540/2549G) 簡易説明書

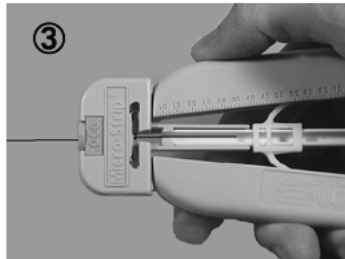
本説明書はファイバロック™ ライト スプライス(2540/2549G)の簡易説明書です。別冊の取扱説明書をよくお読みになった上で、本書を作業現場での手順確認にご使用ください。本書では、警告や注意事項が省略されていますので、ご注意ください。同径ファイバ同士の接続の場合は⑨-A、異径ファイバの接続(250μm-900μm)は⑨-Bを参照してください。



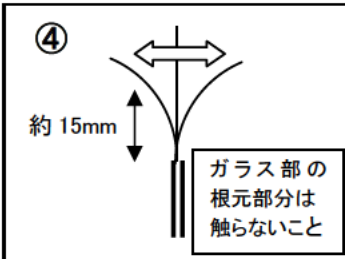
① スプライス設置部両脇の溝を、アルコールを含ませた不織布で毎回清掃してください。



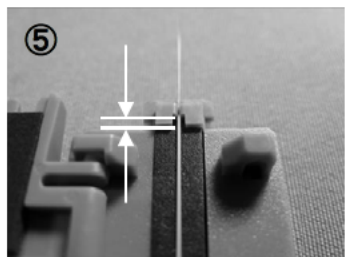
② スプライスのキャップが上向きになるように、工具の設置部にスプライスをセットしてください。



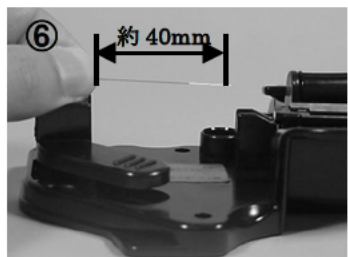
③ ファイバ被覆を30~40mm除去(余長が短いときは、22~23mm可)し、不織布で清掃します。



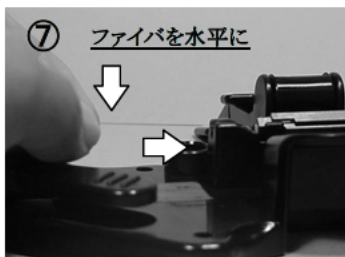
④ ファイバ先端を指で左右にゆっくり曲げ、折れないことを確認します。



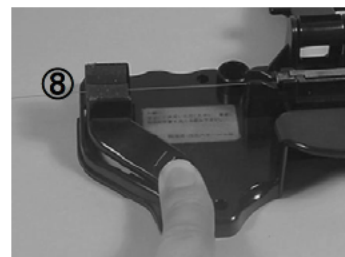
⑤ ファイバ被覆剥き際が、白線内に来るようセットし、ホルダをカッタに載せてカットします。(ファイバ切断長: 12~13mm)



⑥ ファイバを先端から約40mmのところを持ちます。ラベルの幅+4mmで40mmになります。



⑦ ファイバを水平にファイバ先端をガイド溝に軽く乗せ、ファイバを持ち替えずに、一度に止まるまで、水平に挿入します。



⑧ 操作アームを押し下げ、ファイバ被覆をスポンジに挟みます。この操作は、工具を片手で保持したままでも可能です。

⑨-A 同径ファイバ同士の接続



1 本目を水平に挿入



2 本目の挿入で1本目がたわむ



1 本目を押し戻して左右のたわみを調整

1. 一本目挿入後は、このようになっています。(上)
2. 二本目を同様に挿入し、一本目がたわむことを確認します。二本目のファイバをほぼ水平な状態で、パッドに挟みます。(中)
3. 1本目を押し戻し、左右のたわみをほぼ均等にします。(下)
(厳密に調整する必要はありません)

⑨-B 異径ファイバ同士の接続



1. 一本目は必ず 250μm ファイバから挿入します。(上)
2. 二本目(900μm ファイバ)を同様に挿入し、一本目のファイバがたわむことを確認します。(下)
(このときは左右のたわみを調整する必要はありません)



⑩ 圧接レバーを閉じ、スプライスを圧接します。ファイバをファイバ保持パッドから取り出し、スプライス中央部を持ち上げて取り出します。

接続工具の便利な使い方



本工具では、片手で工具を保持したまま操作レバーを押し下げることが出来ます

3M、ファイバロック は3M社の商標です。

3M

スリーエム ジャパン株式会社
通信・電力マーケット事業部
<http://www.mmm.co.jp/>

Please Recycle. Printed in Japan
© 3M 2014. All rights reserved

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-012-321
ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/ 8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)